

パネルディスカッション

平成30年7月の西日本豪雨災害では岡山県下でも多くの市町が被災し、保健医療福祉関連を始めとした多くのチームが様々な分野で連携・協働し、被災地での支援活動を実施しました。

今年度の学会では、これら被災地での活動を振り返り、住民の保健医療福祉を守る活動がどう展開され、どのような結果であったのか、また、残された課題は何なのか等を検討・整理することで、関連する各分野における連携・協働をより深め、災害対策のさらなる向上を期するものです。

テーマ 「西日本豪雨災害における保健医療福祉活動と今後の展望」

座長 岡山県備中保健所 所長 毛利 好孝

1. 基調講演

大規模災害時の保健医療福祉活動とマネジメント支援を考える
熊本県菊池保健所 所長 木脇 弘二

2. 事例発表

(1) 「災害初動時から復興支援に向けた保健活動と今後の課題」
総社市保健福祉部 部長 平野 悦子

(2) 「災害初動時から復興支援に向けた福祉専門職による支援活動
(DWA T活動等) と今後の課題」

岡山県社会福祉協議会地域福祉部 副部長 木村 真悟

(3) 「民間から発信する被災地支援～発災から地域支援へ～」
サンサポート岡山 代表者 ボウズ 満恵

3. ディスカッション（フロアも含む）